

2019年（令和元年）6月11日（火曜日）



日本建築構造技術者協会（JSCA）東北支部は6日、仙台市内のパレスへいあんで2019年度通常総会を開き、任期満了に伴う役員改選で5期務めた加藤重信支部長の後任に、平山浩史副支部長（大成建設東北支店設計部部長）を選任した。平山新支部

長は、「加藤前支部長の運営方針を踏襲しつつ、宮城を中心に活発化している支部活動が強く、団体として対外的に強い発言力を持つ。これを強みに発展に向けて取り組んで

JSCAが総会

新支部長に平山副支部長 東北全県へ活動波及

席上、加藤支部長は「これほしい」と呼び掛けた。

まで会員が増加傾向にあった。議事では18年度事業および当支部も、少子高齢化の影響で会員数が減少し始めた。今後は会員数の減少に対応して、会の新設▽各種講演会や見学会、技術講習会の企画・運営

▽新材料説明会の開催などを盛り込んだ19年度事業計画を承認した。

このうち、技術伝承委員会は、担い手の確保・育成に向けて高齢の構造設計者が培ってきた高い技術力を若手に継承する施策を展開する。

総会後の懇親会で平山新支部長は「当支部は全国の中でも精力的に活動に取り組んでいる。今後は正・賛助会員とともに宮城以外の他県に足を運び、より積極的な活動に取り組んでほしい」と述べた。写真